

編集員が選んだ 「日光市のお祭り」

実施日	祭・イベント名	場所(問い合わせ)	内 容	位置
7月27日～8月26日	ふれあい橋ビアガーデン	鬼怒川温泉ふれあい橋	川風にあたりながら飲むビールは最高。子供向けの夜店もあり。	E5
7月30日～8月24日	ゆまにカナディアンカーニバル	川治温泉	美しい自然との出会いを求めて「カナディアンカーニバル」を体験しませんか?	E4
7月31日～8月7日	男体山登拝講社祭	二荒山神社中宮祠	8/1午前0時に「登拝門」が開けられ、御来光を頂上で迎える。	C6
8月4日	船禅頂	中禅寺立木観音堂	日光開山勝道上人が中禅寺湖畔の登場で修行された場所を船で供養巡拝する。	C6
8月8日	薬師堂法楽・探燈大護摩供	湯元温泉寺と湯の湖畔	本堂での「大法要」のあと湯の湖にて護摩が焚かれる。	B5
8月13日～14日	温泉夏まつり	鬼怒川温泉特設会場	花火と夜景を眺めながら、鬼怒川音頭のお囃子で盆踊りを楽しむ。	E5
8月14日～15日	温泉夏まつり	川治温泉お祭り広場	ピンゴ大会や盆踊りを楽しめます。	E4
8月14日～15日	足尾町納涼祭	足尾町商工会	鉦山町を思わせる「直利音頭」に合わせて踊る盆踊りです。	B8
8月14日～16日	盂蘭盆会	日蔭自在寺	関白流一人立ち三匹獅子舞 燈明の火の中で棒術、子供ササガが加わり幻想的な舞となる。	D4
8月15日～16日	湯殿山祭礼	湯西川湯殿山神社	天狗の面をつけた猿田彦を先頭にした行列の後、獅子舞が奉納される。	D3
8月23日	二十三夜祭	小倉町 追分地藏尊	「おさんやさま」として親しまれ、月を拝む月待ち信仰の一つです。	E6
8月24日～26日	夏祭り	川俣集会所	関白流一人立ち三匹獅子舞、舞・笛・太鼓・謡の行列は川俣ならでは。	C4
8月24日～26日	夏祭り	野門集会所	関白流一人立ち三匹獅子舞、無病息災・悪疫退散・五穀豊稔祈願の舞。	C4
8月26日	川治夜祭 火とともに	川治グラウンド	山間の真暗闇の中、かがり火だけを使った幻想の世界を演出する。	E4
8月27日	厄よけ大わらじ奉納	芹沼 富士浅間神社	厄よけのため、大わらじを奉納する行事です。	E6
8月第4土～月	夏祭り	上栗山集会所	文挟流一人立ち三匹獅子舞、黒部との「出会い獅子」も行われる。	D4
8月第4土～月	夏祭り	黒部集会所	文挟流一人立ち三匹獅子舞、上栗山との「出会い獅子」も行われる。	D4
8月最終土日曜日	夏祭り	土呂部集会所	関白流一人立ち三匹獅子舞、大人のササガが加わり盛り上がります。	D4
9月24日～25日	千燈供養祭	小倉町 追分地藏尊	先祖と水子の供養のため、たくさんのお燈籠があげられます。	E6
9月第1土日曜日	八朔祭	日向公民館	関白流一人立ち三匹獅子舞、二百年前より豊作・厄除けを祈願して行われる。	D4
9月下旬	山のものなんでもござ祭り	中三依温泉センター前	手打そばの早食い競争、郷土芸能大会など手づくりのイベント開催。	E2
10月2日	長講会(じょうごえ)	慈眼堂(輪王寺)	慈眼大師の命日の法要として経義の解釈についての問答が再現される。	D6
10月16日	流瀧馬神事(秋季)	東照宮	走る馬から的を射る妙技。徳川吉宗によって復興された。(春は5/17)	D6
10月17日	千人武者行列(秋季)	東照宮～表参道～御旅所	家康の遺骨を久能山から日光へ改葬した時の様子を再現。(春は5/18)	D6
10月第3日曜日	庚申山秋まつり	猿田彦神社	庚申山荘において護摩焚が行われ、登山者の安全を祈願します。	A7
10月下旬	川治温泉ふれあい秋の縁日	薬師の湯駐車場	子どもの頃、胸を躍らせた出店の品々、童心にかえりご参加ください。	E4
11月17日	報徳二宮神社例大祭	今市 報徳二宮神社	二宮尊徳の命日に当たり、のど自慢大会やからまきが行われます。	E6
11月25日	子供強飯式	生岡神社	輪王寺の強飯式の子ども版。野口小の児童が山伏や強力にふんし大人を責めたてる。	D6
12月31日	除夜祭 歳末会	二社一寺	一年の厄を払う行事がそれぞれに行われる。輪王寺では護摩が焚かれ除夜の鐘をきく。	D6
1月3日	外山昆沙門天縁日	外山山頂(輪王寺)	山頂の毘沙門様で福銭をお借りすれば商売繁盛。お正月登山で今年も健康。	D6
1月4日	武射祭	二荒山中宮祠上神橋	戦場ヶ原の神戦伝説に基づいて赤城山の方向に向き矢を放つ神事。	C6
1月4日	鬼怒川温泉「初市」	鬼怒川温泉駅前	縁起物に一年を託すのも良し、模擬店で「初布」をお楽しみください。	E5
2月初旬	初午のおまつり	各稻荷神社(日光地域)	2月になって最初の牛(うま)の日ににお稻荷さん「シモツカレ」を持ってお参りする。	-
2月2日～3日	鬼怒川温泉鬼まつり	鬼怒川温泉駅前	赤鬼のKINU(きぬ)ちゃん、青鬼のKAWA(かわ)ちゃんが皆様をお迎えます。	E5
2月11日	花市	今市 市街地	縁起物・植木・だるま・など400もの露店が出店します。	E6
2月11日	しもつかれコンテスト	今市 市街地大通り	「しもつかれ」を試食し、一番おいしいと思うものに投票します。	E6
3月11日	弓取り童子	小倉 三所神社	正装した男の子が弓で的を射、地域の厄よけや豊作を祈願します。	E8
3月25日	岩崎観世音大祭	岩崎 岩崎観世音堂	卵を1個もらって帰り、子供が生まれると、お礼に卵を2個返します。	F8
4月1日	開山会	開山寺(輪王寺)	日光山を開いた勝道上人の命日。この日は4/1と7/13の年2回しか扉が開かない。	D6
4月2日	強飯式	三仏堂(輪王寺)	てんご盛(3升)のごはんを「75杯残さず食べる!」と山伏さんが責める。	D6
4月2日	太々神楽	二荒山神社	太々神楽(だいだいかぐら)は、きれいな巫女が踊る。観客は少なく穴場。	D6
4月13日～17日	弥生祭	日光地域(二荒山神社)	4/16、17の花家徳の遷行を「弥生祭」と思われているが、あれは付祭(つけまつり)=付録。実は、お神輿に乗って滝尾の神様が里帰りしたり、両親・息子の神様が本宮神社にお参りになるお祭り。	D6
4月14日	瀧尾神社例大祭	今市 瀧尾神社	鳥居前に大のぼりが立てられ、屋上や御輿がでます。	E6
4月15日	清滝寺観音護摩供	清滝寺	堂内の護摩焚きと大般若經の転読会(てんごくえ)お経をアコーデオンを弾くように左右に流す様はめずらしい。	C6
4月中旬	鬼怒川温泉さくらまつり	桜並木通り	開花時期にあわせ並木公園にて「温泉さくらまつり」を開催します。	E5
5月3日	両大琴平神社大祭	平ヶ崎 琴平神社	両大神社と琴平神社の大祭 露天商が軒を並べます。	E6
5月3日	足尾まつり	足尾観光協会	山神祭の伝統を受け経ざ山車や神輿が賑やかに繰り出します。	B8
5月3日	栗石返し	東照宮 他	境内に敷き詰められた約468万個の石を人の手で1つつひっくり返しゴミを拾う。	D6
5月15日	湯立神事	清滝神社	ササの葉につけた熱湯を神主さんが頭からかぶるといふ奇祭。	C6
5月17日	延年の舞	三仏堂(輪王寺)	円仁(えんにん)が唐から講来したという秘舞。今の舞踊りと違ってとーとーもゆーたりとした動き。	D6
5月18日	四本龍寺開創会	四本龍寺(輪王寺)	門跡を導師として一山僧侶が総出仕して読経する。その声が静寂な境内に流れる。	D6
5月第3土日	庚申山春まつり	足尾観光協会	庚申山荘において護摩焚が行われ、登山者の安全を祈願します。	A7
5月24日	向原たたき地藏縁日	小来川	お地藏さまは体の悪い人の身代わりに体の同じ部分をたたかれてポコポコに。	D6
5月25日	滝尾稻荷神社講社大祭	滝尾稻荷神社(二荒山神社)	小さなお稻荷さまが願い事の旗がスラーッとならぶのが壮観。	D6
5月27日	今市田植祭	今市地域内水田	馬でしろをかき、交代で田植歌を唄いながら、手で苗を植えます。	-
5月28日	行者堂法楽	行者堂(輪王寺)	修験道の祖、役行者(えんのぎょうじゃ)をまつる行者堂。輪王寺のお坊さん全員での読経が大迫力。	D6
5月28日	荒沢不動縁日	律院	裏見滝中段のお不動さまに山伏さんたちがお祈りする。新緑に水しぶきが最高。(秋は10/28)	D6
6月最初の土・日	華供養(はなのみね)修行	律院 他	昔の修行コースをまわる。古峯(ふるみね)神社に泊まり、勝道上人の修行場巴宿で護摩を焚く。	D6
6月8日	大日堂法楽	大日堂(輪王寺)	極楽ヶ淵の上流の大日堂。最近整備された園地での読経と大谷川の瀬音が心を洗う。	D6
6月18日	中禅寺観音講	中禅寺立木観音堂	午前中は五大堂で法要。午後は船からお地藏さまのお礼をまく「地藏流し」供養。	C6
7月7日～14日	瀧尾神社八坂祭	今市 瀧尾神社	各町内の神輿が市街地をもみ歩きます。	E6
7月10日	黎明御開帳	清滝寺	勝道上人が彫ったという観音さまは、この日、しかも太陽が山から出きる前の黎明しか拝めない。	C6
7月13日～16日	盆役	輪王寺	ふだんは拝めない「開山堂」「釈迦堂」「慈雲寺」「慈眼堂」などで法要が行われるのでチャンス。	D6
7月20日	龍王祭前夜祭	鬼怒川温泉駅前	特設会場で「龍王太鼓」や各種アトラクションが盛り沢山。	E5
7月21日～22日	龍王祭本祭	鬼怒川温泉街	龍王峡での神事では日光東照宮神職の温泉感謝祭が行われます。	E5
7月22日～23日	龍王祭本祭	川治温泉街	男女神輿や華麗な花車のパレードなどが行われます。	E4
毎月第3土曜日	今市宿 六斎市	JR今市駅前通り	にぎわいのあるまちづくり、約20の店が軒を並べます。	E6

●人が集まり、協力して、もっと住みよいまちに変えていく。住んでよかったと思えるまちづくり、これは日光市の生涯学習推進の目指すもの一つです。

この2号では、人のつながりを感じ、地域を知ることにつながるという観点から、表紙には市内で行われている「お祭り」に視点を当てました。日光市では、多くの「お祭り」が行われ、その一つひとつの「お祭り」にそれぞれの思いがありますが、各地域の編集員がピックアップしたほんの一部をここで紹介します。

